

# 電波適正利用推進員が浜田市立長浜小学校で「電波教室」を開催！ ～ 小学生を対象に電波の利用ルールについて周知・啓発～

電波の適正利用に関する周知・啓発活動の一環として、島根県電波適正利用推進員協議会(会長：藤井一泰)等が主催する「電波教室」が、中国総合通信局(局長：齊藤一雅)の後援により、平成26年2月19日(水)に島根県浜田市の長浜小学校のクラブ活動として開催されました。

この電波教室は、中国総合通信局長が委嘱した電波適正利用推進員(電波の適正利用を推進する活動を行う民間のボランティア)が、適正な電波利用環境の維持・改善のための活動として、小学生を対象に電波(無線通信)の仕組みや役割に関心を持ってもらうとともに、電波の正しい利用ルールを学んでもらうことを目的として開催したものです。

今回の電波教室には、科学工作クラブ員(4から6年生)8名が参加し、身近な電波の利用例をビデオで学習した後、参加者全員でFMラジオキットの組み立てを行いました。子供たちは慣れないラジオの製作に苦労していましたが、ラジオから音が出た時は歓声が上がりました。

中国総合通信局では、今後もこのような機会を通じて、電波の適正な利用環境について周知・啓発を図っていくこととします。

## 【参考】電波適正利用推進員協議会

総務省は、平成9年度に電波適正利用推進員制度を導入し、中国管内では、現在48名の推進員の方々に委嘱して、電波の適正利用に関する活動を行っていただいている。また、地域における推進員の活動を支えるため、各県に協議会が設置されています。

